



REACHに向けた
ECセンターの取組み
環境辞書及び環境情報基盤

E C M 委 員 会



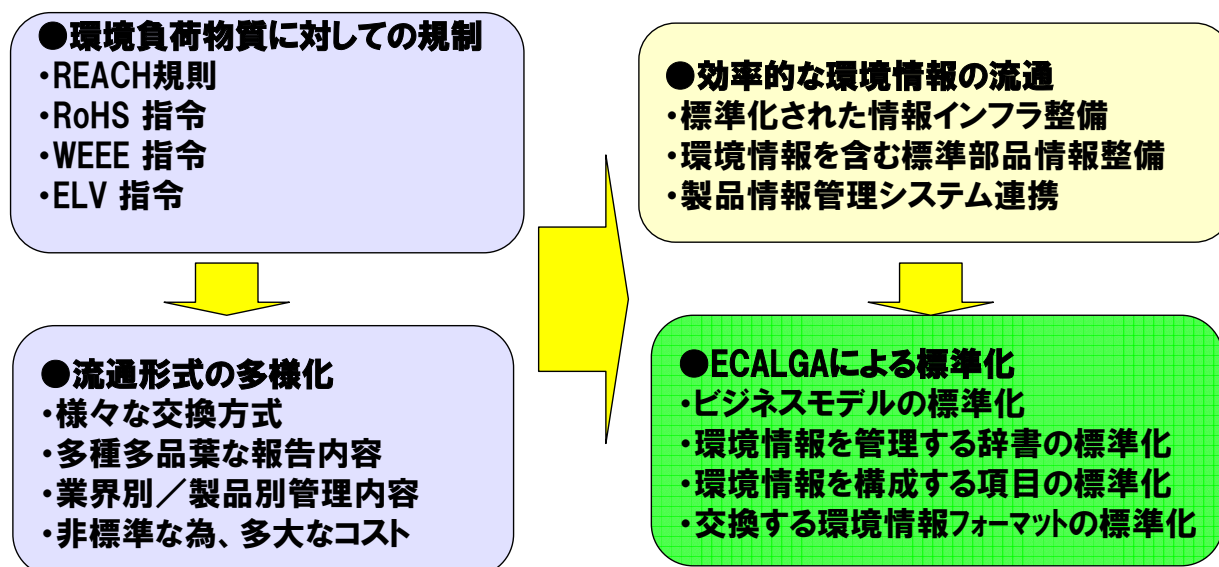
目次

環境辞書の現状

- 1.環境辞書情報の標準化の目的
- 2.環境情報交換モデル標準化の経緯
- 3.環境情報辞書化の範囲
- 4.ECALGA環境辞書の構成
- 5.環境辞書とモデルの関係
- 6.環境情報公開モデル例
- 7.ECALSコンテンツからの環境情報リンク

1. 環境辞書情報の標準化の目的

環境情報は川上から川下まで業界を跨った幅広い企業での情報の流通が簡便に行えることが必要とされます。環境情報の辞書を標準化することで、異なった項目管理や多様なフォーマット形式や要求内容に対応でき、多くの企業が情報提供のため使用可能な環境辞書の標準化が急務です。



2. 環境情報交換モデル標準化の経緯

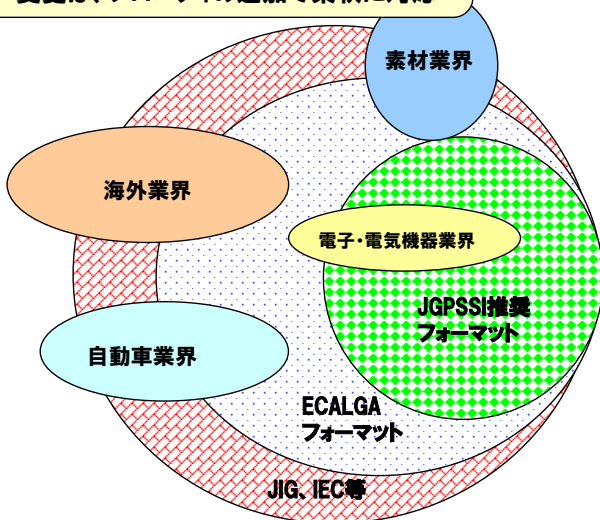
交換モデルとインフラ	2004	2005	2006	2007	2008
環境情報交換モデル	10月 JGPSSIプラスの 検討	8月 2004A追補版 公開し正式版 とした	4月 環境辞書連携 XML化検討	12月 2006A公開	12月 2007A公開
納入仕様書交換モデル		4月 環境情報添付検討		12月 2006A公開	
環境情報公開モデル		6月 環境辞書およびJEITA- Greenの一次検討	4月 環境辞書およびJEITA- Greenの二次検討	3月 二次公開モデル リリース	3月 二次公開モデル リリース
				4月 ECALSから 環境辞書を連携	4月 JGPSSI V3.23対応
					7月 AIS作成支援 ツール標準化

4 All Rights Reserved, Copyright © 2008 JEITA

ECALGA

3. 環境情報辞書化の範囲

・広く他業界の標準にも運用できるように
JGPSSIフォーマットを包含した階層構造
変更は、プロパティの追加で柔軟に対応



検討項目	内 容
階層構造	製品 ≥ サブパーツ ≥ 材料 ≥ 均質材料 ≥ 使用用途分類 ≥ 物質群 ≥ 物質 製品 ≥ 構成 製品 ≥ 物質群 ≥ 使用用途分類(均質材料) (≧は物質の塊りの大きさを表す)
物質	可能な物質すべてを対象とする (物質群または例示物質)
形式	XML(CSV外部ファイル連携)
辞書構造	ECALS辞書をもとに環境に関わる項目を変更して新規に作成する
標準との関係	JGPSSIを基本に標準化 (追加定義するがJGPSSI項目はすべてカバーする)に作成する

取扱う項目と関係する業界

JIG = 『電子部品の製品材料の含有量報告に関する日米欧が合意した標準』
(Joint Industry Guide) ただしフォーマットを制定するものではない。

JGPSSI = 『Japan Green Procurement Survey Standardization Initiative』の略称で
有志企業・団体により運用される協議会。

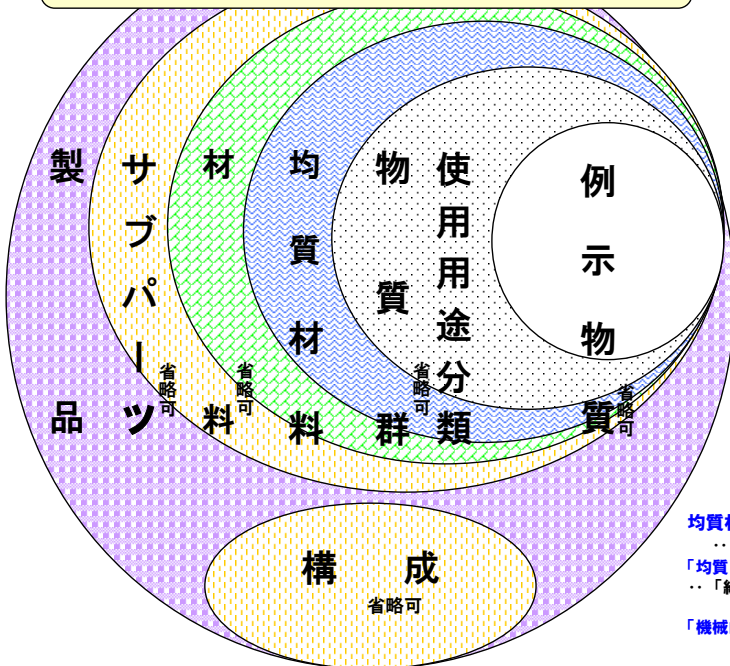
5 All Rights Reserved, Copyright © 2008 JEITA

ECALGA

4. ECALGA環境辞書の構成

ECALGA

辞書の構成は、サブパーツから材料・均質材料物質群など階層構造で表現、製品構造の違い、構成数に柔軟に対応



製品	受注者の受注品番。
構成	半製品を構成する名称。
サブパーツ	製品構成の最終段階に属している組立て材とする。
材料	均質材料を構成する材質。
均質材料	それ以上分離出来ない均質な部分をいう。(Homogeneous) 閾値判定の分母となる。
使用用途分類	物質の使用用途を分類したもので、閾値未満で使用等を分類したものの。
物質群	個々の化学物質ではなく、「カドミウム及びその化合物」等の表現で化学物質をグループとして表現する名称
例示物質	過去の実績でグリーン調達調査共通化協議会またはECセンター参加企業が調査していた化学物質や法規制で禁止や規制を受けている化学物質を例として示した名称

均質材料 (Homogeneous material)

… 機械的に、異なる物質に分離できない物質をいう。

「均質」 (Homogeneous)

… 「組織が全体に渡って均一である」ことを意味する。

プラスチック、セラミック、ガラス、金属、合金、紙、板、樹脂、塗料など。

「機械的分離 (mechanically disjointed)」

… ネジの取り外し、切断、粉碎、研削、研磨など。

5. 環境辞書とモデルの関係(1)

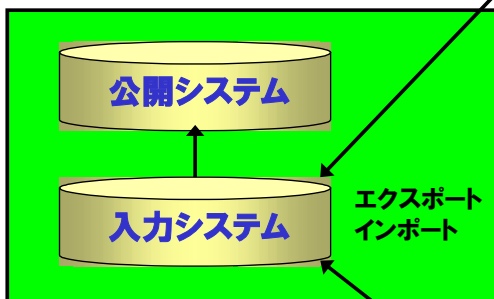
(1) 環境情報公開モデル

環境情報公開モデルは環境辞書 (構造、クラス、プロパティ) に従って構築されたデータベースにコンテンツを入力して公開するモデルである。

一般公開と外部システム連携としてエクスポート、インポート機能を持っている。

(形式: XML, ECALGA-CSV, JGPSSI-CSV)

JEITA-Green (標準型、Web型)



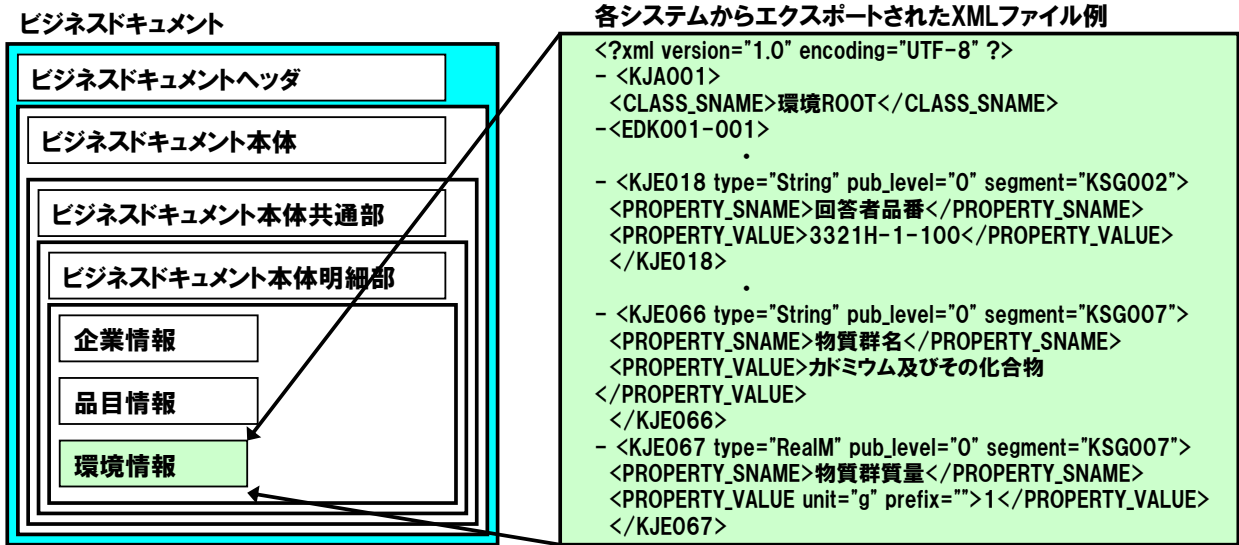
JEITA-GreenからエクスポートされるXMLファイル例

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
- <KJA001>
  <CLASS_SNAME>環境ROOT</CLASS_SNAME>
  <EDK001-001>
    .
  - <KJE018 type="String" pub_level="0" segment="KSG002">
    <PROPERTY_SNAME>回答者品番</PROPERTY_SNAME>
    <PROPERTY_VALUE>3321H-1-100</PROPERTY_VALUE>
    </KJE018>
    .
  - <KJE066 type="String" pub_level="0" segment="KSG007">
    <PROPERTY_SNAME>物質群名</PROPERTY_SNAME>
    <PROPERTY_VALUE>カドミウム及びその化合物
    </PROPERTY_VALUE>
    </KJE066>
  - <KJE067 type="RealM" pub_level="0" segment="KSG007">
    <PROPERTY_SNAME>物質群質量</PROPERTY_SNAME>
    <PROPERTY_VALUE unit="g" prefix="">1</PROPERTY_VALUE>
    </KJE067>
```

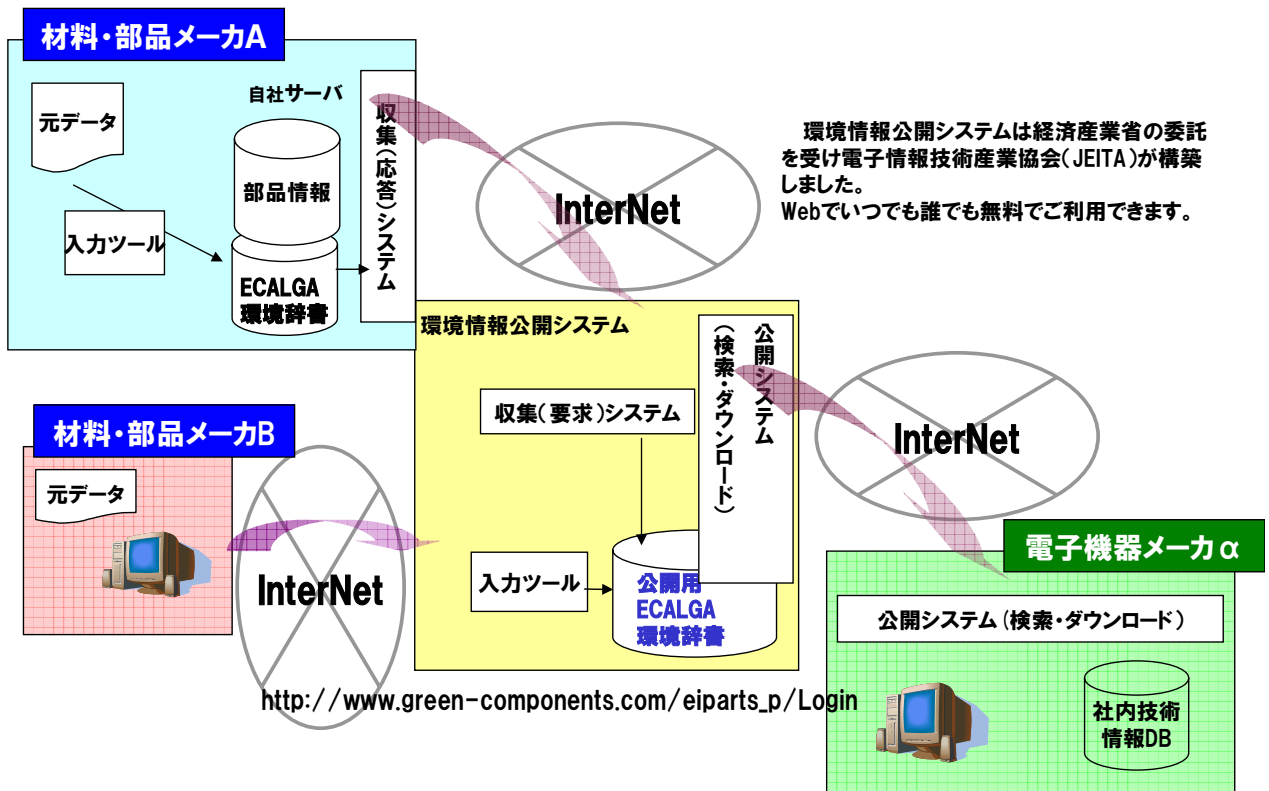
5. 環境辞書とモデルの関係(2)

(2) 環境情報交換モデル

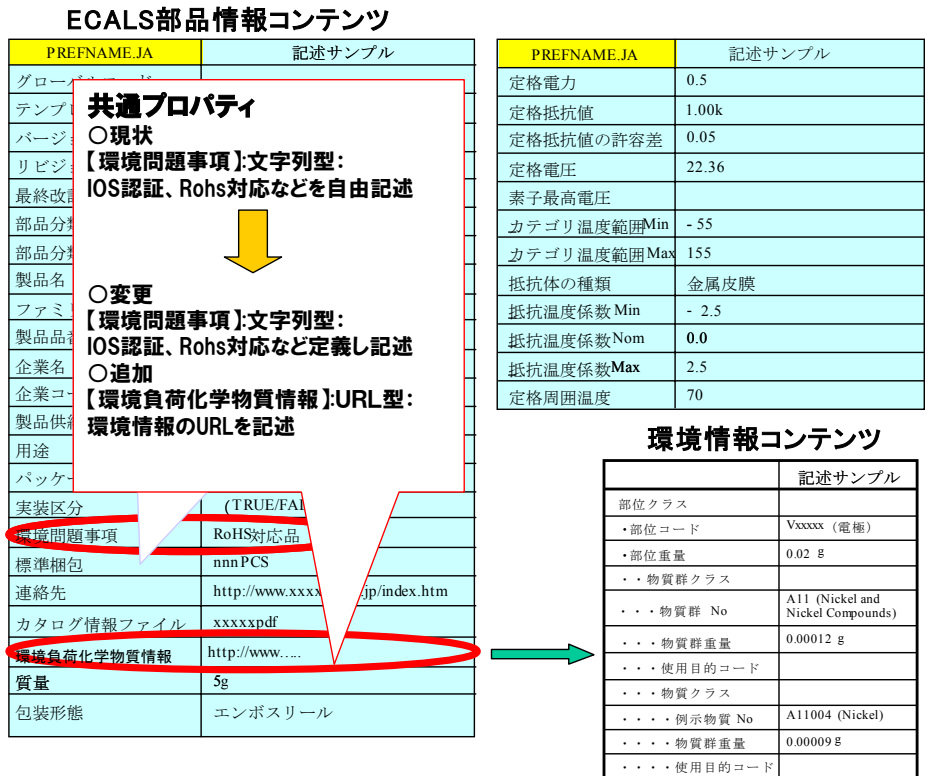
環境情報交換モデルは企業間で交換するビジネスドキュメント (ECALGAビジネス辞書) を定め、その一部に環境情報を添付で交換するモデルである。添付する環境情報は環境辞書をもとに作成されたXMLファイルである。(代表ファイルとしてJEITA-Green 又はPDFフォームからエクスポートされるXMLファイル等がある)



6. 環境情報公開モデル例



7.ECALISコンテンツからの環境情報リンク



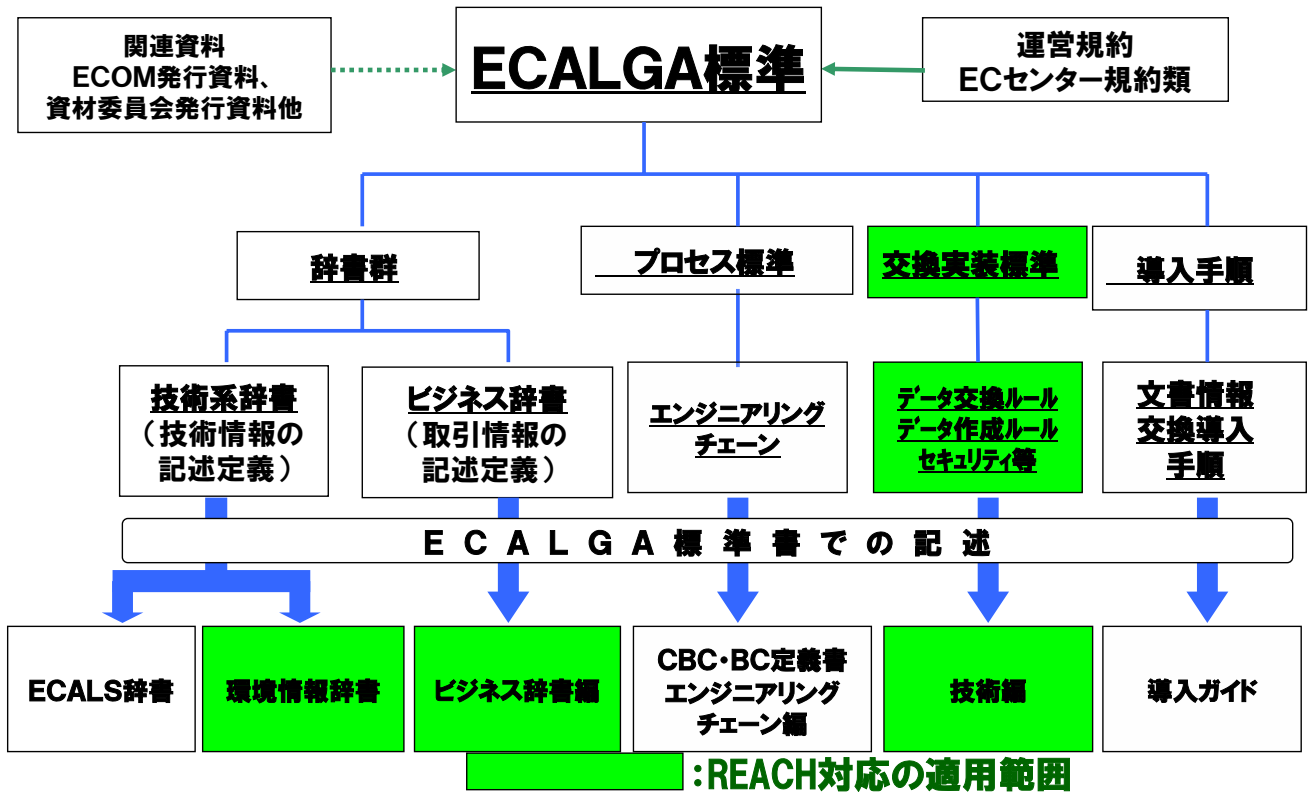
*) 検索はECALISシステムの検索機能で検索した結果(品目決定)から環境情報を取得する。

一 目 次 一

REACHに向けた今後の対応

- 1.REACH対応の範囲
- 2.REACH対応による辞書改訂
- 3.ASPを利用したデータ交換例
- 4.技術情報交換モデルの対応(案)
- 5.JAMPへ提案の標準類
- 6.製品含有化学物質情報の流れ
- 7.今後のスケジュール

1.REACH対応の範囲



12 All Rights Reserved, Copyright © 2008 JEITA

ECALGA

2. REACH対応による辞書改訂

AISによる主な環境辞書の改訂

a. ルートコンポーネントへの追加

- ・JAMPシート
- ・発行者情報
 - 発行者当事者情報／部門情報
- ・依頼者情報
 - 依頼者当事者情報／部門情報／依頼者製品シリーズ／集計情報／
管理対象基準／発行者製品情報

b. クラス名称変更

- サブパーツ情報 → 中間層部品情報
- 均質材料 → 材質

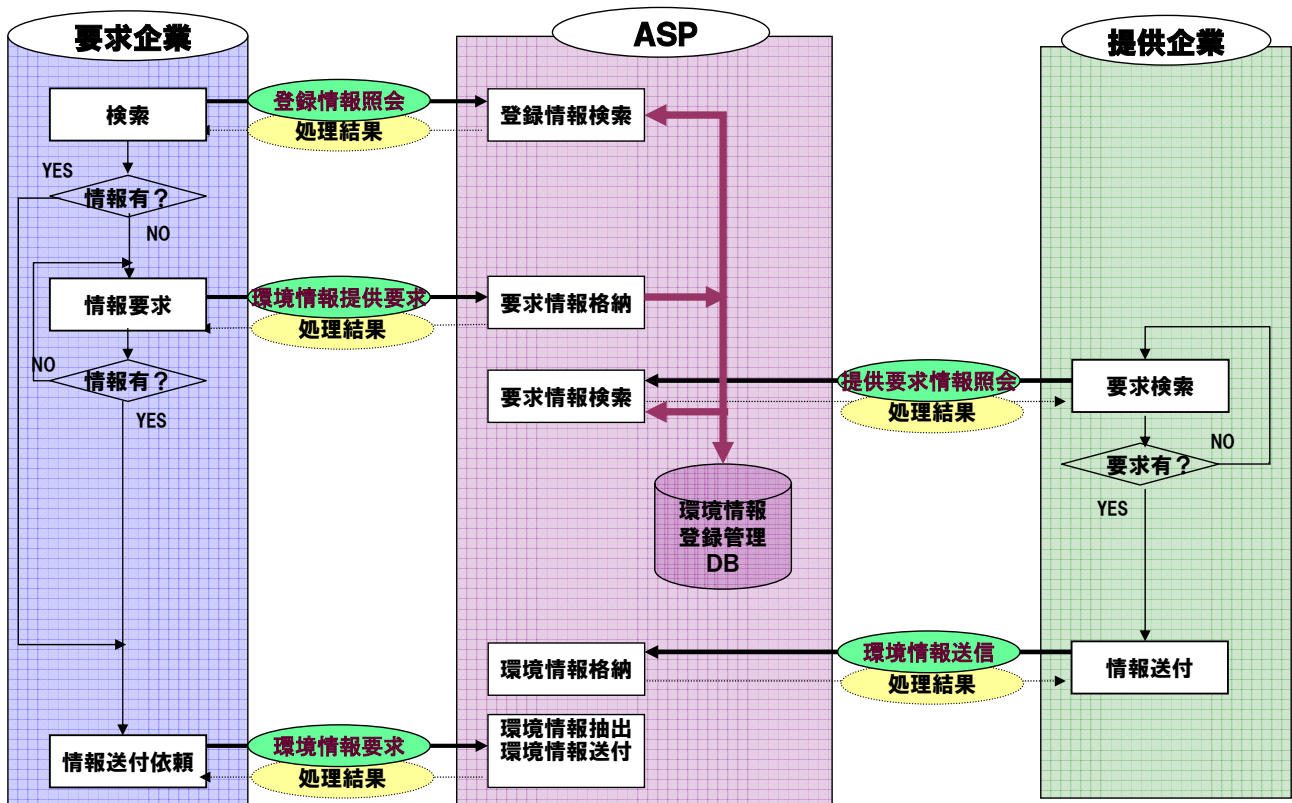
c. 主な新設項目

- 最下層部品員数／最下層部品レベル／材料用途／材質名／材質分類コード／
材質公的規格／報告物質該当法令識別／報告物質該当法令名 等

13 All Rights Reserved, Copyright © 2008 JEITA

ECALGA

3. ASPを利用したデータ交換例



4. 技術情報交換モデルの対応(案)

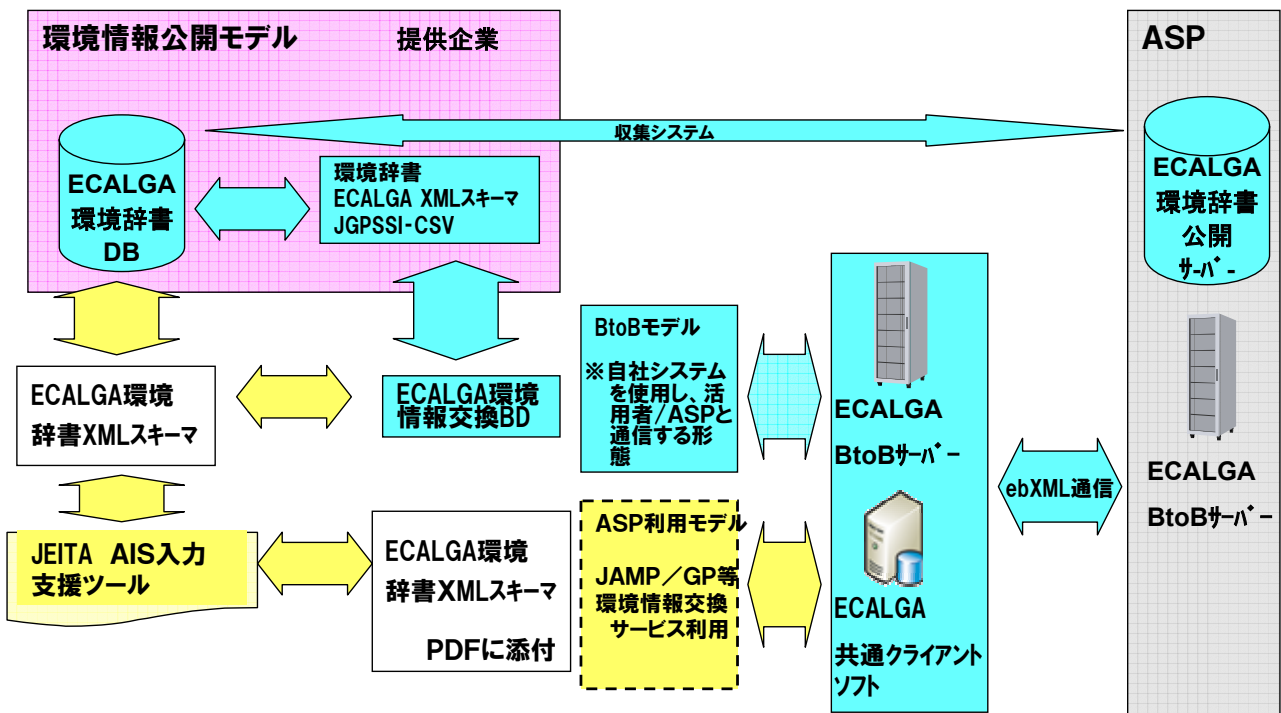
1. 適応プロセス
汎用技術情報交換 (CBC-0170/BC-A0220)
2. 適応メッセージ
汎用技術情報依頼情報
汎用技術情報回答情報
3. 対象BD
汎用技術情報依頼／回答
 - ・技術情報名称にコマンド(機能名)を指定
例・・・登録情報照会,環境情報提供要求／照会,
環境情報要求／提供
 - ・パラメータ及び処理結果項目の追加
 - パラメータ
 - 処理結果

5. JAMPへ提案の標準類

ECALGAが提案した標準がJAMPで認定予定。

1. 環境辞書
2. 環境辞書XMLスキーマ
3. AIS作成支援ツール
4. 情報交換ビジネスモデル
(汎用技術情報依頼/回答を提案予定)

6. 製品含有化学物質情報の流れ



7. 今後のスケジュール

